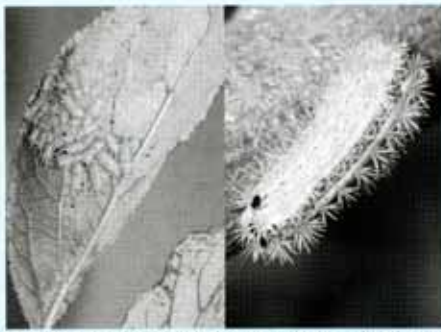


通信①

ヒロヘリアオイラガ「チヨウ目（鱗翅目）・イラガ科」

越生の梅林で、有毒な刺毛を持つ幼虫が集団で葉を食害するようになりました。新顔のヒロヘリアオイラガです。従来から生育する単独生活の「イラガ」は、その数が減少しました。イラガ類の幼虫で、皮膚に鋭い痛みを感じた経験者も多いと思います。幼虫の餌植物の範囲は広く、ウメ、アズ、カリン、カキ、サクラなど、多くの樹木で発生し、



ヒロヘリアオイラガ若齢と白変葉および終齢幼虫

草本植物に発生する場合もあります◆分布の広がりには極めて劇的です。日本で最初の発見は1921年、鹿児島市内の鹿児島大学果樹園付近でした。その後、40年間の歳月が流れ、1960年に鹿児島市で再発見、1970年後半から関西以西で多発、80年代後半に関東に分布拡大しました◆越冬は繭で行われ、成虫は6月と8月の2回発生。卵塊で産卵し、中齢までは集団生活です。繭は樹木の幹の下部に作るものが多く、強固なため数年分が蓄積されます。成虫の前翅の長さは雌16mm内外、全体に緑色で基部と外縁は黒褐色、外縁の斑紋が幅広です。幼虫は全身が刺毛で覆われ鋭く尖り、色彩は黄色く黄緑色、終齢幼虫は2対の赤褐色の刺毛が鮮やかです◆若齢期の食害は葉の表皮を残すため、白変した表皮が人目を引き、発見が容易です。注意深く取り除くのが効果的で、発育が進んで分散すると厄介者です。（江村 薫）

Art Museum

おぼせ アートミュージアム



3年 神原 佑香さん
『もみじの小物入れ』



3年 國安 梨央さん
『うさぎの小物入れ』



3年 近藤 彩音さん
『イヌの小物入れ』

越生中学校

5月の納税

固定資産税 第1期
軽自動車税 全期
(5月31日まで)

人口と世帯

4月1日現在 ()は前月比

総人口	12,744人(-2)
男性	6,355人(+3)
女性	6,389人(-5)
世帯数	4,965世帯(+11)

【お詫びと訂正】

4月号の3ページ「平成24年度町の予算」の中で、「国民健康保険などの5つの特別会計の合計は、25億7686万3千円」とありましたが、「25億6250万5千円」の誤りでした。また、右下表「平成24年度会計別予算額」の中で、「国民健康保険、本年度、1,593,058」が「1,578,700」、「増減額、32,558」が「18,200」、「増減率、2.1」が「1.2」、「計、本年度、2,576,863」が「2,562,505」、「増減額、43,975」が「29,617」、「増減率、1.7」が「1.2」の誤りでした。
ご迷惑をおかけしました皆様
に深くお詫びを申し上げます。